

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP） 自動走行システム  
大規模実証実験  
情報発信事業

平成30年3月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

委託先 株式会社電通名鉄コミュニケーションズ

本報告書は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託業務として、(株)住商アビーム自動車総合研究所が実施した平成30年度『「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動走行システム/大規模実証実験」のうち、情報発信事業』の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の著作権は、NEDOに帰属しており、本報告書の全部又は一部の無断複製等の行為は、法律で認められたときを除き、著作権の侵害にあたるので、これらの利用行為を行うときは、NEDOの承認手続きが必要です。

1. 事業の背景と目的.....	3
2. 要約.....	4
3. 実施概要.....	6
4. 実施内容(Welcome Gate 自動走行が目指す安心安全な社会へ).....	7
5. 実施内容(Zone1 リアルタイムに対応する3D地図 自動走行を実現させるために).....	9
6. 実施内容(Zone2 人とクルマがつながる交差点 交通事故死亡者ゼロを目指して).....	11
7. 実施内容(Zone3 やさしい次世代の公共交通 すべての人に移動の自由を).....	13
8. 実施内容(Zone4 運転を任せられるクルマ 車と人の理想的な関係をつくる).....	15
9. 実施内容(Zone5 その先の社会への第一歩 自動走行が社会の未来を変える).....	17
10. 実施内容(Community Salon、Technology Gallery).....	19
11. 実施内容(自動走行体験Zone 自動走行の世界を身近に).....	21
12. 実施体制.....	22
13. 事務局.....	25
14. Webサイト制作.....	27
15. プレスリリース.....	32
16. メディア.....	34
17. 来場者集計.....	36
18. 各体験コンテンツ集計.....	42
19. アンケート集計.....	54

本報告書は、戦略的イノベーション創造プログラム自動走行システム／大規模実証実験 情報情報発信事業の実施活動結果についてまとめたものである。

## 1. 事業の背景と目的

本事業は、SIP自動走行システムは第一期の最終年度を迎えるにあたって、これまで5か年にわたり産学官で連携して取り組んできた研究開発の成果を発信するための成果発表イベントとして、「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を開催。

本イベントでは、実証実験で利用した実機による体験型の展示や技術者と実用化に係る方々との対話等の機会を提供すること等により、更なる社会的受容性の醸成と社会実装の加速を図ることを目的とした。



## ■実施内容

本番日を平成31年2月6日(水)、7日(木)とし、実施会場を、G1駐車場に隣接している東京都有明にあるTFTホール300およびホール1,000を使用することに決定。集客に向けてのWebサイトを立ち上げ、リーフレットを制作し、配布等を事前広報活動を行った。会場へのロケハンやSIP-adusの研究受託者へヒアリングを行いながら、展示内容を決定。その後、詳細な図面を制作しながら、物理的な施工方法の検討した。また、成果発表会本番に向けて、運営方法の検討を行い、運営マニュアルを制作。

一般の方にも、わかりやすい成果発表とするため、親しみやすい名称として、「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」とした。

また、詳しい成果内容を来場者へ伝えるため、各研究受託者を招聘し、説明を行った。さらに、ガイドツアーを計画。ガイドに、自動車関連のジャーナリストを起用。事前に全研究内容のレクチャーを行い実施。来場者への深い理解や高い満足度を得られる施策とした。

会場内で放映する映像は、別途受託社であるTNS社と連携。本発表会の会場内トーン&マナーと映像のトーン&マナーを合わせることで一体感を創出した。

会場内では、SIP-sdusへの期待や要望を書き込める、メッセージカードを用意。351件のメッセージを入手。社会受容性等を把握するため、アンケートを実施し、409件の回答を得る。

屋外では、次世代バス技術体験会(場外試乗・場内試乗)、交差点での事故防止体験、歩行者探知レーダー体験を実施するための、設備や図面を制作。

## ■来場者、体験者人数

来場者数/1,035名。ガイドツアー参加者/277名。屋内正着制御体験/308名。シミュレーター(筑波大)/136名。シミュレーター(産総研)/132名。屋外体験(場外コース)/127名。場内コース/100名。誘導線方式正着制御試乗体験/240名。見通しの悪い交差点体験/244名

## ■ イベント全体の評価

本イベントに対して、アンケート回答者の約9割が満足と評価しており、参加者にとってイベント全体の総合的な評価が高かった。また、イベント参加後、SIPの取組み及び自動運転に対する理解と関心が深まったことも明らかになり、自動走行システムの社会実装への加速と社会的受容性の向上に寄与した結果となった。

## ■ 自動運転に対する認知度、及び受容性

今回のアンケート調査では、自動運転の認知度、自動運転への期待が高いことが分かり、ほぼ全ての回答者が自動運転の導入に肯定的な見方をしていることが明らかになった。

## ■ 来場者の特性

年代別では40代・50代が全体の6割を占めた。性別では男性が8割、職業別では会社員が8割となった。アンケート回答者の半数が普段自動運転に係る業務や学業に携わっていることが分かった。

## ■ イベントの参加動機、認知方法

参加理由の4割を「SIP自動走行システムの取組みに関心があったため」が占めた。

本イベントを知る前からSIPを知っていた方は全体の7割を占めた。

## ■ イベント参加前後での意識の変化

アンケート回答者の半数以上が、イベント参加後、SIPの取組み及び自動運転に対する関心と理解が深化した。

今後も最新の技術動向や道路交通に関する法律・ルールの情報提供が求められている。

## ■ 展示内容の理解度

展示内容の理解度は、全てのゾーンにおいて高かった。

興味を持ったテーマ、難しかったテーマの両方でZone 04「運転を任せられるクルマ」が最多回答で選ばれた。

## ■ 自動運転への意識

アンケート回答者における自動運転車の認知度は、約9割と高い結果になった。

自動運転車に対して、道路交通の安全性の向上と利便性の向上に大きな期待が寄せられていることが分かった。

## ■ 自動運転の導入に対する意識

自動運転の導入に対して、「非常に肯定的」と「どちらかといえば肯定的」が回答の9割超を占めた。一方で、安全性の担保や事故対応が導入に向けた不安として挙げられた。

# Event Summary

## Overview

The event was held on February 6 and 7, 2019 at the TFT Hall 300 and 1000 (next to the G1 parking area) located in Ariake, Tokyo. A website, leaflets and brochures were created to promote the event. The details of the exhibition such as the layout and construction were decided after interviews with SIP-adus research members and multiple visits to the venue. Operation guidelines and manuals were also created ahead of the presentation.

The title, "SIP-adus showcase "Future with Automated Driving - Mobility Bringing Everyone a smile - " was decided to interest the public with an easy to understand description of the exhibition.

In order to provide details with accurate information about SIP's results, SIP researchers were invited to provide detailed explanations to visitors. Guided tours with automotive journalists were also held at the event. Visitors were given an explanation of each area of research prior to the tour, and participants were able to form a deeper understanding of the research and felt more satisfied with the event.

Videos shown at the event were created in collaboration with TNS Inc., and were produced to create a unified atmosphere between the video and the exhibition. Message cards and an area to post messages to SIP-adus was created within the venue, and 351 visitors posted their messages. In addition, 409 visitors responded to a survey about the general public's views towards autonomous driving.

## Attendance and number of participants

Total attendance: 1,035; Guided tours: 277; Indoor precise docking control system: 308; Simulator (Tsukuba Univ.): 136; Simulator (AIST): 132; Outdoor (public road): 127; Outdoor (track): 100; Guided-path precise docking control system test ride: 240; Next-generation intersection: 244

## Overall assessment

90% of respondents stated they were responded positively when asked about their overall opinion about the event. Furthermore, many stated that they gained a greater understanding of SIP's activities as well as autonomous driving in general. We believe that this event will help in speeding up the adoption of autonomous driving as well as increase its acceptance.

## Awareness/reception of autonomous driving

The survey revealed that awareness and acceptance of autonomous driving is very high. Almost all respondents were very positive towards the implementation of autonomous driving.

## Characteristics

60% of visitors were aged between 40 and 59. 80% were male, and 80% were office workers. Approximately half of the respondents stated that they were involved with autonomous driving either for work or in education.

## Reason for participating/how visitors learned about the event

40% of respondents said they participated in the event because they were interested in SIP's efforts in autonomous driving. Approximately 70% stated they knew about SIP prior to participating in this event.

## Changes in opinion after participation

Over half of respondents said they were able to deepen their understanding and become more interested in SIP's activities and about autonomous driving. We believe it is necessary to continue to provide the public with information about new technologies and traffic laws/rules.

## Understanding of the exhibits

Most visitors responded that they were able to easily understand the exhibits in each zone. Zone 4 was listed the most for both the most interesting Zone, and the Zone most difficult to understand.

## Awareness of autonomous driving

90% of respondents were aware of autonomous driving vehicles. Many showed growing anticipation for increased safety and convenience with the adoption of autonomous driving.

## Views towards autonomous driving

Over 90% of respondents were "very positive" or "positive" towards the adoption of autonomous driving. However, some expressed concerns about guarantees on safety and how accidents would be handled.

Outside of the venue, we created blueprints and equipment for the next-generation bus technology experience (on temporary course/public roads) was held as a way to allow visitors to experience technologies that prevent accidents in intersections and radars that detect pedestrians.

# 実施概要

## ●実施概要

- イベント名：** 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）  
自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～
- 主催者：** 内閣府／国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
- 実施日時：** 2019年2月5日(火) 09:00～21:00 設営  
6日(水) 09:30～10:30 **メディア事前取材**  
10:30～17:00 **一般公開** ※市民ダイアログ17:30～19:30実施  
7日(木) 10:00～17:00 **一般公開** ※18:00～撤去
- 実施場所：** 東京ファッションタウンビル(TFT) ホール1000・ホール300、G1臨時駐車場
- 実施目的：** ・5年間のSIP自動走行システム研究に関する成果を発信し、  
その成果の活用と社会実装を加速するとともに、SIP自動走行の輪を広げる  
・体験型現物展示やシミュレーターなどを活用し、成果を分かりやすく発信する。  
・社会実装に向け、研究者と実用化に関わる方々の対話、マッチングの場を提供。
- 参加方法：** WEBサイトより事前登録し、確認メールを受付に提示 ※当日受付も可能
- 入場料：** 無料

## ●併催イベント実施概要

- イベント名：** 市民ダイアログ（シンポジウム）
- テーマ：** 「自動運転の安心・安全について」～一緒に考えよう 未来社会の安心・安全～
- 実施日時：** 2019年2月6日(水) 17:30～19:30（受付開始：16:45）
- 実施場所：** 東京ファッションタウンビル(TFT) ホール300
- 実施目的：** 自動運転の安心・安全について取り組む専門家がパネルディスカッションを行い、「自動運転で交通社会はどこまで安全になるか」などに関して議論。  
専門家による正確な情報提供の場を設けることで、市民の自動運転に対する不安を取り除き、正しい理解を深めることを目的とする。
- 参加方法：** WEBサイトより事前登録し、確認メールを受付に提示／定員100名程度
- 入場料：** 無料

## ● Welcome Gate 自動走行が目指す安心安全な社会へ

近い将来、AIやロボット、センシング技術が飛躍的に進化することにより、自動運転は"移動"の概念をさらに拡大し、社会の様々なシーンに変革をもたらします。

<展示内容>

- ・モビリティの歴史を展示
- ・世界一の道路交通社会を目指した官民のロードマップ
- ・自動運転の実現に必要な法制度の見直し方針
- ・日本各地で行われる政府主導の実証実験
- ・自動運転車両の車検はどうあるべきか

<出展>

内閣官房、国土交通省

## ● 掲出パネル (Zone内)

0-1

> 自動運転が受容される社会を目指して、未来像を共有します。  
官民連携により、技術開発や制度整備を促し、社会実装を実現します。

### 官民ITS構想・ロードマップ2018

自動運転やITを活用した大きなイノベーションが世界で加速しています。日本は、このような大きなイノベーションの潮流に先んじて、社会全体として進出し、今後も引き続き、世界最先端のITSを確立・構築し、世界一の道路交通社会によるメリットを国民が享受するための戦略を官民が一掃って策定しています。

官民ITS構想・ロードマップは、2014年に策定以来、ITS・自動運転を巡る最近の情勢変化等を踏まえ、毎年改定しています。

2025年完全自動運転を実現した社会構想・サービス実現のシナリオ

内閣官房

0-2

> すべての人に移動の自由と笑顔をもたらす自動運転の実現。  
技術開発の重点領域を見定め、成果を着実に積み上げていきます。

### SIP自動走行システムで取り組む4つの重点領域

Mobility Bringing Everyone a Smile ~すべての人に笑顔を~

本プロジェクトでは、国土交通省が主導とした研究開発、地方自治体・産官学連携、官民連携、標準化・規格策定、ビジネスモデル構築、社会実装の推進等を通じて、社会実装に向けた取り組みを進めています。

- I 大規模実証実験を軸とした研究開発の推進**
- II 地方展開・産官学連携**
- III 国際連携・標準化の推進**
- IV 事業化・ビジネスモデルの構築**

内閣官房

0-3

> 自動運転に関わる法制度が整うことにより、信頼性が高まります。  
同時に、自動運転の普及や事業参入を促す効果が期待できます。

### 自動運転に係る制度整備大綱

2020年までに高度な自動運転(レベル3以上)の実現に必要な関連法制度を整備すべく、その見直し方針である「自動運転に係る制度整備大綱」を策定し、平成30年4月17日に高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT総合戦略本部)で決定しました。

制度整備大綱の策定により実現できることのイメージ

自動運転に係る制度の見直しに向けた進め方

- 自動運転の安全確保の考え方
- 交通ルールの見直し
- 安全性の一体的な確保(運行環境条件の策定)
- 責任関係

内閣官房

0-6

内閣府

## 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

日本経済再生と持続的経済成長を実現するには、科学技術イノベーションが不可欠です。  
戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)は、内閣府総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクトです。

### SIPの特徴

- SIP(戦略的イノベーション創造プログラム: Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program)とは、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト
- 国民にとって真に重要な社会的課題や、日本経済再生に寄与できるような世界を先導する11の課題に取り組む
- 各課題を強力にリードする11名のプログラムディレクター(PD)を中心に省庁連携・産学官連携を図り、基礎研究から実用化・事業化までを見据えて一貫通貨で研究開発を推進

### 実施体制

内閣府の支援機能を充てる

関係府省研究機関、大学、民間企業等





## ● Zone1 リアルタイムに対応する3D地図 自動走行を実現させるために

高精度3次元のデジタル地図と、刻々と変化する様々な周辺情報を活用することにより、自動走行を実現します。

### <展示内容>

- ・自動運転に必要な高精度3D地図とは
- ・地図・交通情報との連携によって得られるベネフィットを大画面で体験
- ・高速道や一般道など公道での実証実験による検証、国際標準化への取組
- ・刻一刻と変わる信号機の色をシームレスに自動運転車両に伝える技術
- ・ダイナミックマップ基盤(株)の成立、事業展開
- ・自動運転以外の分野での活用、多用途展開

### <出展>

三菱電機(株)、アイサンテクノロジー(株)、インクリメントピー(株)、(株)ゼンリン、(株)ヨタマップマスター、(株)パスコ、ダイナミックマップ基盤(株)、富士通(株)、(株)NTTデータ、沖電気工業(株)、NEC、パイオニア(株)、日立製作所(株)、警察庁

## ● 掲出パネル

1-1

**> 自動運転で重要なのは、自車の位置と道路の状況を正しく認識することです。地図情報と車載機情報によりリアルタイムに状況を判断します。**

**ダイナミックマップとは**

**高精度3次元地図の役割**

自動運転は、自車の位置を正確に認識するとともに、周辺の交通情報や車線などに「判断」することが求められます。高精度3次元地図情報は、①自車位置の検定 ②道路構造 ③交通情報 ④信号機情報 等に活用することにより、カメラやレーダー等車載機の情報と連携し、高精度な自車の位置認識を実現します。

**ダイナミックマップという考え方**

高精度3次元地図情報に、様々な車載センサーから取得する位置情報や車載センサー(カメラ、レーダー、車速センサー、車載機情報)とを組み合わせることで、リアルタイムに状況を判断し、自動運転を実現します。また、高精度3次元地図情報と、車載機情報とを組み合わせることで、自動運転に必要な高精度な位置認識を実現します。

様々な情報を合わせて活用

- ① 高精度3次元地図情報
- ② 車載機情報
- ③ 高精度3次元地図情報
- ④ 車載機情報

NEO | SIP 自動車移動の未来を創造する

1-2

**> 高速道路だけでなく、一般道での安全性・信頼性が高まることで、自動運転の走行エリアが広がり、社会への普及を促します。**

**ダイナミックマップの実用化に向けた実証実験**

**実証実験の目的**

ダイナミックマップの商用化に向けて、公道での実証実験を行います。実証実験は、国内の主要公道(約200km)を対象に、自動車専用道路約70kmのテストを計画しました。この結果をもとに実用化を目標としています。

**ダイナミックマップ実証実験スケジュールと実験エリア**

2017年: 実証実験の開始、実証実験の完了

2018年: 実証実験の開始、実証実験の完了

2019年: 実証実験の開始、実証実験の完了

**ダイナミックマップ実証実験の様子**

① 実証実験の開始(自動車専用道路)

② 実証実験の開始(一般道)

③ 実証実験の開始(一般道)

④ 実証実験の開始(一般道)

**ダイナミックマップ実証実験の成果**

- 実証実験でダイナミックマップの商用化が実現
- インクリメントピーが実証実験のパートナー

NEO | SIP 自動車移動の未来を創造する

1-3

**> クルマに、信号情報や交通規制情報を提供することにより、安全な走行をサポートします。**

**信号情報提供技術の高度化、交通規制情報管理システムの整備**

**信号情報提供技術の高度化**

警察庁では、信号情報を自動運転車に提供する技術の高度化に取り組んでいます。2018年度は、公道に設置された信号機に追加し、700MHz帯の無線通信設備を設置することにより、これらと連携する交通情報の提供をより高精度に実現することを目指しています。

**交通規制情報管理システムの整備**

警察庁では、各自治体警察が管理する交通規制データベースに、高精度な自動運転車専用に対応するためのシステム構築に取り組んでいます。

2018年度まで、交通規制情報に関する全国統一なデータベース構築のための準備作業を行いました。これまでに、103自治体の交通規制情報管理システムを整備し、103自治体の交通規制情報を提供できるようシステム構築が完了しています。

NEO | SIP 自動車移動の未来を創造する

1-4

**> 多くの企業が協調することにより、コスト削減と開発速度を速めることができます。さらに海外に向けたグローバルな情報発信力が期待できます。**

**ダイナミックマップ基盤株式会社(DMP)の設立**

**自動車関連企業が共同でダイナミックマップの事業会社を設立**

ダイナミックマップの商用化を実現するために、ダイナミックマップ基盤株式会社(DMP)の設立、自動車メーカーは、2018年6月に「ダイナミックマップ基盤株式会社」を共同出資して設立しました。また、2018年7月に「ダイナミックマップ基盤株式会社」を共同出資して設立しました。また、2018年7月に「ダイナミックマップ基盤株式会社」を共同出資して設立しました。

**出資企業**

- 株式会社NEO
- 株式会社パスコ
- 株式会社インクリメントピー
- 株式会社ゼンリン
- 株式会社トヨタマップマスター
- 株式会社三菱電機
- 株式会社富士通
- 株式会社パイオニア
- 株式会社日立製作所
- 株式会社NEC
- 株式会社NTTデータ
- 株式会社沖電気工業
- 株式会社パナソニック

**協調領域に関する開発**

① 高精度3次元地図情報

② 車載機情報

③ 高精度3次元地図情報

④ 車載機情報

NEO | SIP 自動車移動の未来を創造する

1-5

**> 日本発ダイナミックマップは、グローバルスタンダードを目指しています。高精度の3次元位置情報技術は、様々な分野への利活用が期待できます。**

**ダイナミックマップ基盤株式会社(DMP)の事業展開**

自動走行システムを支える高精度3次元地図を製するため、高度自動車道路及び自動車専用道路、一般道での実証実験を進めています。日本は、海外企業も興味をもち始めるグローバルマーケットを目指しています。この基幹技術は、社会インフラや物流、防衛等の多分野への利活用が期待されています。

**設立の背景**

国内の主要公道(約200km)を対象に、自動車専用道路約70kmのテストを計画しました。この結果をもとに実用化を目標としています。

**事業領域**

① 高精度3次元地図情報

② 車載機情報

③ 高精度3次元地図情報

④ 車載機情報

**事業展開**

① 高精度3次元地図情報

② 車載機情報

③ 高精度3次元地図情報

④ 車載機情報

NEO | SIP 自動車移動の未来を創造する

1-6

**> リアルタイムに道路交通の状況を更新するダイナミックマップは、ビジネスや防災にも役立つことが期待できます。**

**ダイナミックマップの多分野への活用**

自動運転を実現するための不可欠な地図インフラであるダイナミックマップは、リアルタイムに道路の状況を更新しています。この高精度な位置情報、交通情報と連携し、物流や建設等のビジネス分野や災害時の防災や防災対策等、多分野への活用が期待されています。

**ダイナミックマップワービープラットフォームと6分野のサービスモデル**

① 高精度3次元地図情報

② 車載機情報

③ 高精度3次元地図情報

④ 車載機情報

**様々な分野での活用に向けた検討**

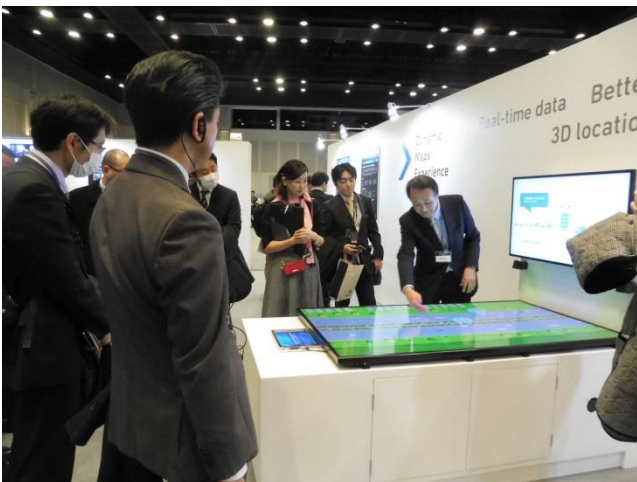
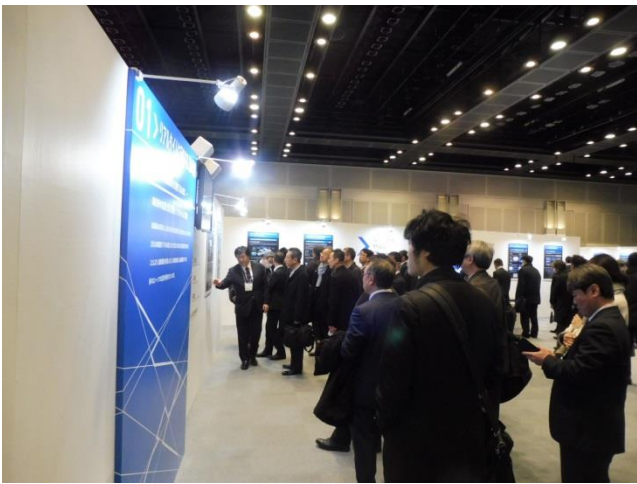
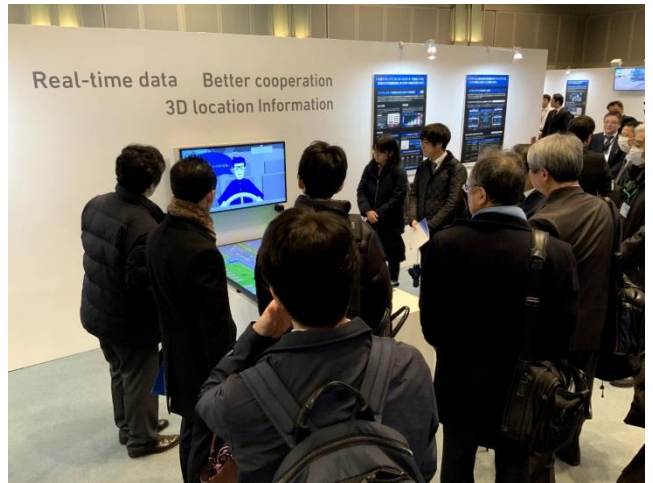
高精度な位置情報、交通情報と連携し、物流や建設等のビジネス分野や災害時の防災や防災対策等、多分野への活用が期待されています。

分野	活用内容	高精度3次元地図情報と車載機情報連携による効果
物流	高精度な位置情報と交通情報と連携し、物流効率を向上させる。	高精度な位置情報と交通情報と連携し、物流効率を向上させる。
建設	高精度な位置情報と交通情報と連携し、建設現場の安全管理を向上させる。	高精度な位置情報と交通情報と連携し、建設現場の安全管理を向上させる。
防災	高精度な位置情報と交通情報と連携し、災害時の避難経路の最適化を実現させる。	高精度な位置情報と交通情報と連携し、災害時の避難経路の最適化を実現させる。
その他	高精度な位置情報と交通情報と連携し、様々な分野での活用を実現させる。	高精度な位置情報と交通情報と連携し、様々な分野での活用を実現させる。

NEO | SIP 自動車移動の未来を創造する



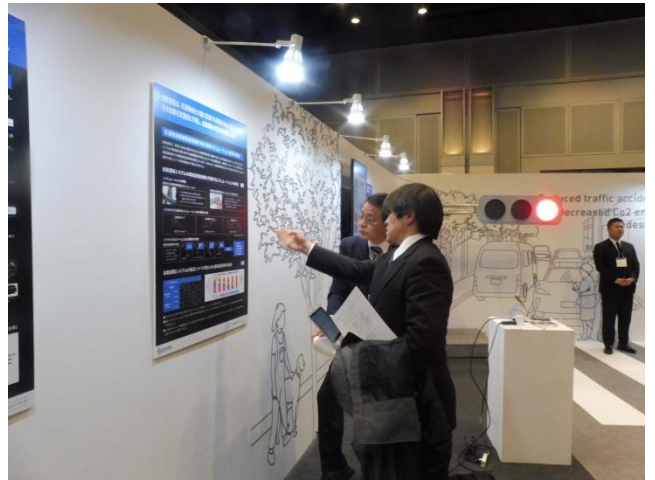
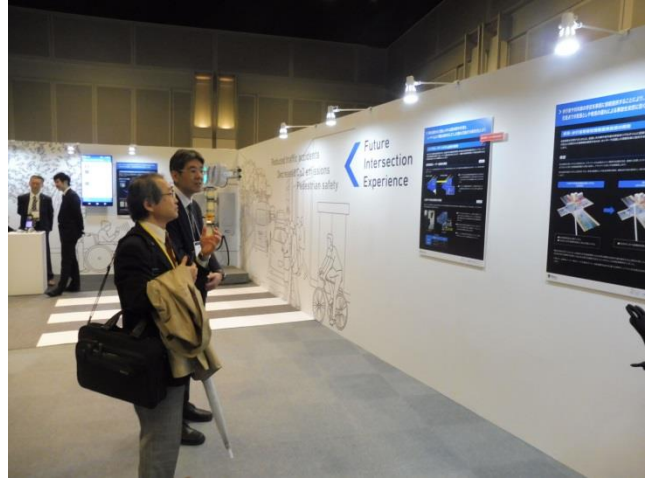
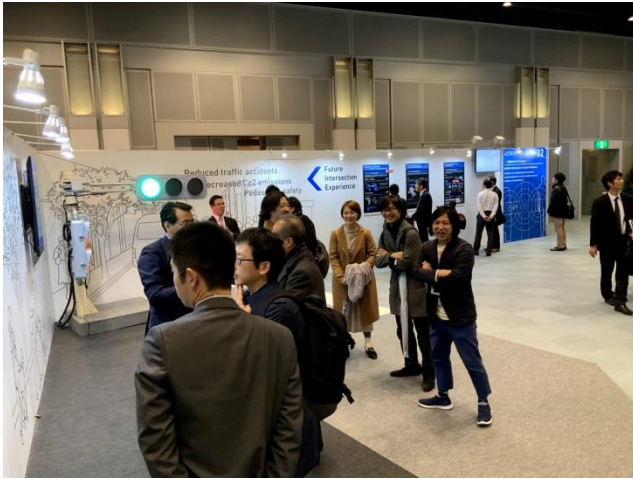
## ● 記録写真







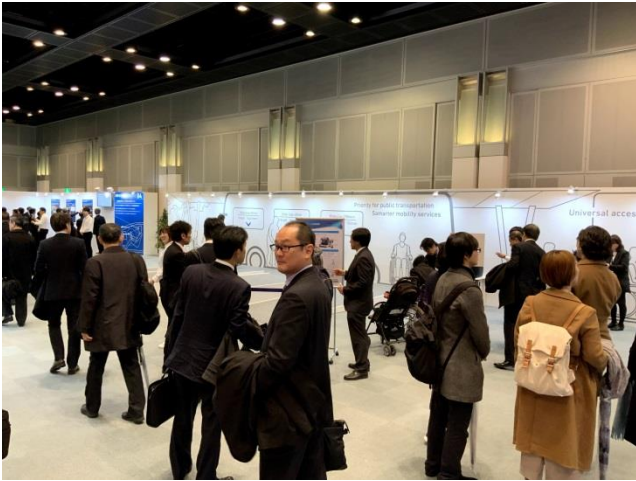
● 記録写真







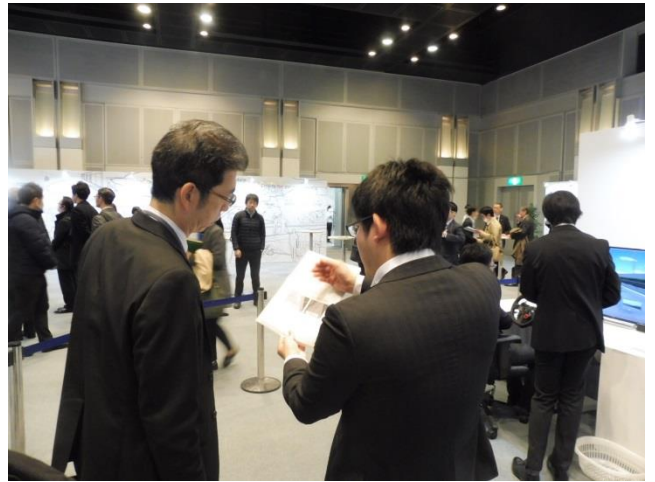
## ● 記録写真







● 記録写真







## ● Community Salon

お客様と説明員のコミュニケーションをとる場として設定。

- <展示内容>
- ・アンケート記入
  - ・ドリンク提供

## ● 掲出パネル

5-5

**Society 5.0 の実現を通じたSDGsの達成**

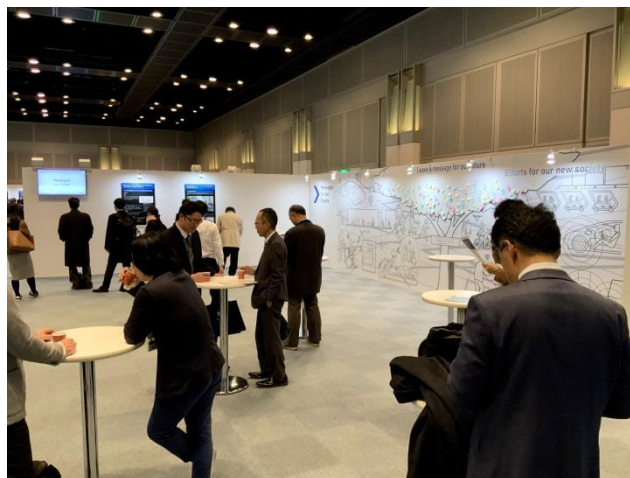
2015年9月、「持続可能な開発サミット」がニューヨークの国連本部で開催され、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」(SDGs:Sustainable Development Goals)が193カ国の合意のもと採択されました。SDGsは、途上国、先進国、全ての国の達成目標であり、日本政府もその達成にコミットしています。また、民間セクターには資金提供だけでなく、事業活動を通じてSDGsの達成に積極的に寄与することが期待されています。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

内閣府 内閣官庁 警察庁 総務省 経済産業省 国土交通省 NEDO SIP 自動車転換のある未来ショーケース

## ● 記録写真



## ● Technology Gallery

ホール内では説明しきれない、各社の研究内容の詳細を説明する場。

<出展>

- ・パナソニック(株)
- ・計量計画研究所
- ・パシフィックコンサルタンツ(株)
- ・日立製作所
- ・(株)JTEKT

## ● 掲出パネル

6-1

### > バスが信号交差点で優先的に通行できるよう信号制御を行うことで、より短い時間、少ない遅延での運行となり、バスが利用しやすくなります。

#### 高度化 PTPS

高度化 PTPS 車載機の実装、シミュレーションや公道実証による効果検証を実施

- (従来の) PTPS (公共車両優先システム) とは
  - ・信号の青・赤時間をバスの到着タイミングに合わせて調整し、定時性を向上
  - ・交差点の手前や交差点直前で発進する下のバスが通過した時に減速を検知
- 760MHz帯を利用した高度化 PTPS の特徴
  - ・減速検知に高い検知性能
    - 減速検知距離が長くなる
    - 減速検知の検知精度が向上
  - ・検速検知に高い検知性能
    - 減速検知の検知精度が向上
    - 減速検知の検知精度が向上
  - ・検速検知に高い検知性能
    - 減速検知の検知精度が向上
    - 減速検知の検知精度が向上

実証実験による公道での効果検証

東京都江東区東横へ有明付近の公道で実証実験を行い、所要時間短縮効果を検証

実証実験走行ルート (青丸=長町交差点) 実験の様子

所要時間短縮効果	所要時間短縮効果	所要時間短縮効果
方向	方向	方向
往路	往路	往路
9分37秒	8分38秒	15秒
6分22秒	5分48秒	7秒
		6.6秒
		31回

1分短縮 (10%短縮) 走行時間短縮

6-2

### > 高度化PTPS車載機は、複数台のバスが同時に交差点に接近した場合の優先制御機能やHMI機能 (バスドライバの運行をサポートする情報提供機能) を搭載

#### 高度化 PTPS

高度化 PTPS 車載機には、複数のバスが交差点に同時に接近した場合の優先制御機能やHMI機能 (バスドライバの運行をサポートする情報提供機能) を搭載

#### 優先制御機能

優先したバスを優先させるために

- 優先したバスを優先させるために
- 優先したバスを優先させるために

HMI機能

- ・車内の残り秒数の情報提供や、青信号で減速できるよう減速検知/減速の検知をディスプレイに表示
- ・自車がPTPS優先要求をしているかディスプレイに表示

#### シミュレーション評価

優先制御機能なども含めて、高度化PTPSの効果を検証したシミュレーションにより

シミュレーション結果の例	シミュレーション結果の例
乗客1人あたりの平均乗車時間 (秒/人)	5秒以上の遅延発生率
750	4.5
650	3.5
550	2.5
450	1.5

6-3

### > 誰もが移動しやすくなるために、公共交通に関わる情報を一元化し、事業者も利用しやすい形で情報を提供します。

#### 情報センター、バス情報サービス

情報 (位置、遅れ、混雑など) の収集を行うデータ受信装置、蓄積・加工するデータ蓄積分析基盤、提供するデータ公開基盤など、5つの基盤を有する仕組みにて情報センターを構築

上記情報センターに、大規模実証が必要と考える5つの支援機能を試作

情報提供サービスの一例として、バス情報を提供するアプリを試作

#### (1) 大規模実証支援

高度化PTPS「歩行者移動支援」、それ以外の大規模実証を実現/支援する機能を提供

#### (2) バス情報サービス (一例)

運行事業者向け

- ・高度化PTPS対応の優先制御制御支援機能提供

一般利用者向け

- ・バス車内の混雑状況の取得、表示
- ・乗りたいバスの乗車タイミング、乗車位置の通知

6-4

### > 移動者の多様なニーズに応じた乗り継ぎ案内を実現するために、鉄道と道路交通の遅延・渋滞混雑を予測します。

#### 統合交通シミュレータの開発

鉄道運行のシミュレータと道路交通のシミュレータを連携させて、都市交通全体の移動予測を行います。これにより、交通手段をまたいだ混雑や遅延の予測が可能となり、その結果をもとに混雑や遅延を回避する乗り継ぎ案内を行うことができます。

#### 統合交通シミュレータ

東京都東海地域を対象に、各技術の実装および連携動作の検証を実施

#### (1) 鉄道シミュレータ、道路交通シミュレータ間のシミュレーション連携技術

共通データモデル・データ交換機能

複数のシミュレータを連携させるため、一旦共通のデータモデルに変換して受け渡しをさせる機能を開発

シミュレーション連携技術 (交通の遅延や遅延、遅延の検知) の検証

#### (2) 道路交通に関する予測技術

ART: バス運行予測機能

リアルタイムシミュレーション予測機能

リアルタイムに入手が難しいバリエーションは、数値モデルにより推定し活用する機能を実装

6-5

### > 交通制約者を含む、あらゆる人の安全・安心・快適な移動をめざして、個々の特徴に応じたルート案内を提供します。

#### 歩行者移動支援システム

交通制約者 (視覚障がい者、車いす使用者、高齢者、ベビーカー使用者など) が移動に必要なとする情報 (バリア/バリアフリー情報、ランドマークなど) を調査、検討

ルートに必要な情報を収集可能な仕組みを構築、データ収集アプリで情報を収集

収集したデータを元に、個々の特徴を考慮した「通れたマップ」を作成

「通れたマップ」を活用した、個々の特徴に応じたルート案内を実現

#### 移動時に必要となる情報 (実証実験・調査結果)

属性	必要情報	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要	必要
属性	視覚障がい者	歩行者	高齢者	ベビーカー	車いす	障害者	障害者	障害者	障害者	障害者
属性	視覚障がい者	歩行者	高齢者	ベビーカー	車いす	障害者	障害者	障害者	障害者	障害者

#### 個々の特徴を考慮した「通れたマップ」の作成と、それを活用したルート案内の実現

移動時に必要となる情報 (実証実験)

「通れたマップ」作成

実証実験

歩行者移動支援システム

6-6

### > 段差や傾斜等を考慮して、歩行者の属性に応じたパーソナルナビゲーションを実現します。

#### パーソナルナビ、データ収集アプリ

#### データ収集アプリによるバリア・バリアフリー情報の収集

バリアフリーナビゲーションを実現するため、データ収集アプリを一般公開し、バリア/バリアフリー情報を一般ユーザーから集めます。

#### データ収集アプリ「やさしいず」

「段差」「急傾斜」「勾配」「段差」「傾斜」「傾斜」「傾斜」「傾斜」等の情報を収集します。スマホを動かすことで、収集したい情報の位置情報が記録できるため、誰でも簡単にデータ収集が可能です。

#### パーソナルナビのロジック

通行実績に基づいたリンクコストバリエーション、交通制約者の属性ごとに定義したバリアフリーネットワークを活用し、属性に応じたナビゲーションを表示と案内で実現しました。またデータ収集アプリで投稿されたバリア/バリアフリー情報を、経路の抽出に活用します。





## ● 自動走行体験Zone 自動走行の世界を身近に

レベル2の自動走行を体験し、次世代交通を身近に感じていただきます。

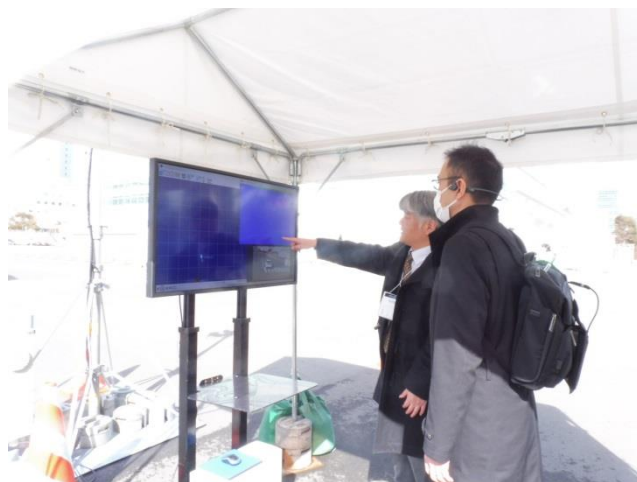
<体験内容>

- ・次世代バス技術体験会（場外試乗・場内試乗）
- ・誘導線方式正着制御試乗体験
- ・交差点での事故防止体験
- ・歩行者探知レーダー体験

<出展>

(株)ジェイテクト、日本工営(株)、パナソニック(株)

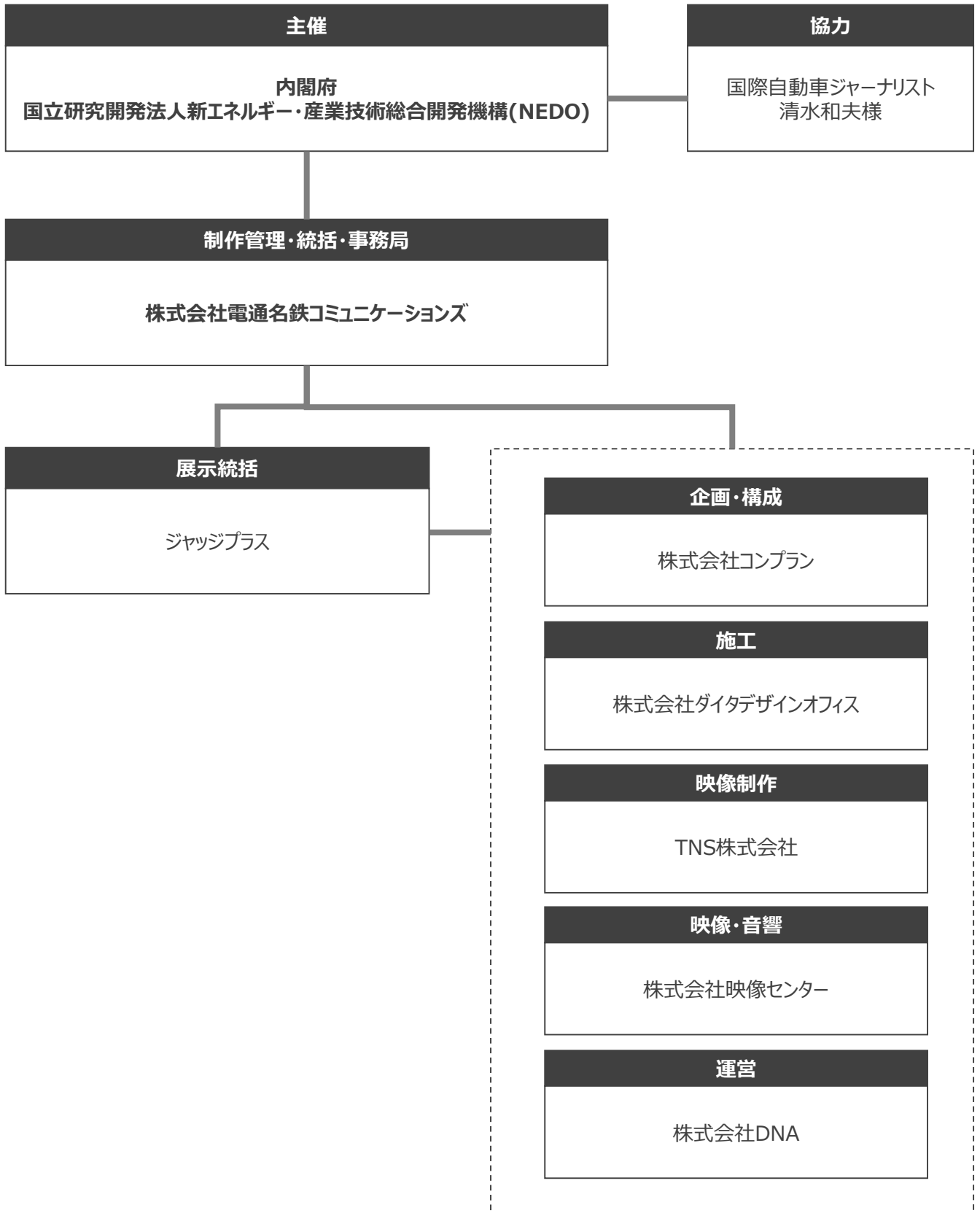
## ● 記録写真



## 实施体制图

---

# 実施体制図



# 運営人員リスト

## ●運営人員リスト

ポジション		P数	人数	役割
運営統括	統括ディレクター	1P	1名	運営統括管理
	統括AD	1P	1名	運営統括管理補助
	庶務スタッフ	2P	2名	各種庶務業務
受付	受付ディレクター	1P	1名	来場者受付全体管理業務
	受付スタッフ	3P	5名	来場者受付業務/関係者受付/PRESS受付
	受付前誘導スタッフ	2P	3名	受付前誘導・当日受付案内
ガイドツアー	ガイドツアーディレクター	1P	1名	体験プログラム全体管理業務
	ガイドツアー受付スタッフ	2P	3名	ガイドツアー受付業務
	ガイドツアー補助スタッフ	2P	3名	ガイドツアー最後尾フォロー業務
会場内誘導	会場誘導ディレクター	1P	1名	会場内誘導全体管理業務
	会場誘導アシスタントディレクター	2P	2名	会場内誘導全体管理補助
	ホール内誘導スタッフ	4P	6名	会場内誘導業務
	ホール～屋外誘導スタッフ	4P	6名	TechnologyGallery付近誘導/屋外誘導
	正着制御体験スタッフ	2P	3名	正着制御体験待機列整理・誘導業務
	シミュレーター体験スタッフ	2P	3名	シミュレーター待機列整理・誘導業務
	アンケートスタッフ	2P	3名	アンケート配布・回収業務
	コミュニティーゾーン清掃スタッフ	1P	3名	コミュニティーゾーン清掃業務/メッセージボード案内業務
	メッセージスタッフ	1P		メッセージボード案内業務
屋外体験	屋外体験ディレクター	1P	1名	屋外体験全体管理業務
	受付スタッフ	2P	3名	屋外体験受付業務
	屋外体験誘導スタッフ	2P	3名	屋外体験誘導業務
合計		54名		

事務局

---



●事務局所感

事務局として電話番号・メールアドレスを取得し、出展社やメディア、一般からの問い合わせなどに対応した。一般からの問い合わせとして多かったのは、「屋外の体験コンテンツの事前予約の可否について」で、こちらに関しては、当日、先着順での受付になるという旨をご理解いただけるよう心がけた。来場登録・ガイドツアーの受付は12/27日のサイトリリースと同時に開始し、年末年始という時期的な影響が最初は申し込み数が伸び悩んだが、1月中旬程から徐々に申し込みが増えていった。ガイドツアーに関しては一月中旬に申し込みが満杯となった。これに関してはバス協会・自技会メルマガ配信時期と重なるため、申し込みの増加にメルマガの配信が一定の効果があったと考える。

●主な作業

- ・ 出展者対応 メール／電話
- ・ 来場登録、ガイドツアー申し込み・キャンセル取りまとめ メール／電話
- ・ 一般問い合わせ対応 メール／電話
- ・ メディア問い合わせ対応 メール／電話
- ・ メディアへの取材案内 メール／電話／FAX
- ・ 日本バス協会へのメルマガ配信依頼・配信文書作成（1/15配信）
- ・ 自動車技術会へのメルマガ配信依頼・配信文書作成（1/23配信）
- ・ リーフレットの制作・各所への送付  
（都道府県会館の各事務所にポスティング※一部、郵送 バス協会へデータ送付）
- ・ 筑波大学DSの運送・搬入出
- ・ その他、什器搬入出
- ・ 会場（G1地区）との調整・報告書作成など

■リーフレット 1,000部印刷

(表)

(裏)

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)  
**自動運転のある未来ショーケース**  
～あらゆる人に移動の自由を～

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システムは、これまで5年におわり産学官が連携して取り組んできた研究 開発の成果を発信するため、「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を開催いたします。

**開催日時** 平成31(2019)年2月6日(水)・7日(木)  
6日(水) 9:30-10:30 → メディア取材 10:30-17:00 → 一般公開 17:30 → 市民ダイアログ(シンポジウム)  
7日(木) 10:00-17:00 一般公開

**会場** 東京・有明 TFTホール 1000 & 300  
東京都江東区有明 3-4-10 TFT ビル西館 2F

**開催趣旨**  
SIP自動走行システムは、高度な自動走行システムの実現による事故・渋滞の低減、利便性の向上を目指し、産学官が連携して取り組むべき技術課題の研究開発や実証実験を5年間に渡り取り組んでまいりました。この度、自動運転技術を実用化する方々を対象に、自動運転の現状と未来を知っていただくため、内閣府は関係府庁及び管理法人のNEDOと協力し、「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を開催いたします。本ショーケースでは、実証実験で利用した実機による体験型の展示や技術者と実用化に係る方々との対話等の機会を提供することにより、自動運転に対する理解と関心を高め、社会実装の加速を図ります。

**展示内容**

Zone名	展示テーマ・メッセージ
Welcome Gate	自動走行が目指す安心安全な社会へ
Zone 01	リアルタイムに反応する3D地図 自動走行を実現する未来に
Zone 02	人との目がつながらない交通 実用実験で脅威を回避して
Zone 03	新しい次世代の公共実証 市民が参加できる社会の実現
Zone 04	運転を任せられる未来 自動走行が人々の移動の自由をつくる
Zone 05	その先の社会への第一歩 自動走行が公共交通を支える

「自動走行が目指す安心安全な社会へ」のコンセプト動画

事前登録 <https://sip-adus-showcase.or.jp/> 入場 無料

**体験型コンテンツ**

本ショーケースでは、自動運転について専門知識のない方も興味をもっていただけるよう、専門家による一般向けのガイドツアーや参加体験プログラムを開催します。

(予定している内容)

- ダイナミックマップの体験型デモ、交差点での歩行者検知、バス停留所への正着側面体験デモ、ドライビングシミュレーターによる運転体験等
- 自動運転バスの試乗体験(空き枠があった場合、先着順にて当日受付)
- 対話イベント「市民ダイアログ(シンポジウム)」を開催
- 専門知識をもつ案内役と会場内を巡るガイドツアー

ドライビングシミュレーター 自動運転バスのデモ 市民ダイアログ(シンポジウム)

**(ガイドツアー、市民ダイアログの申し込み方法)**

- ガイドツアー  
1日30分、各回10名様まで受け付け、事前予約制
- 市民ダイアログ(シンポジウム)  
定員100名を超過、入場無料、事前登録制(申し込み多数の場合は抽選)  
<https://sip-adus-showcase.or.jp/symposium/>

**取材について** 2月6日(水) 9:30-10:30にメディア取材時間を設けています。取材を希望される方は、下記まで御連絡ください。

(お問い合わせ先)  
本展示イベント 取材の申し込みについて SIP-adus SHOWCASE 事務局(担当: 寺本)  
電話: 03-6260-6890 E-Mail: info@sip-adus-showcase.or.jp

**会場へのアクセス**

**電車でお越しの方**

- ・りんかい線 国際展示場駅(下車徒歩約5分)
- ・ゆりかもめ 国際展示場正門駅(下車徒歩約1分)

**バスでお越しの方**

- ・都営バス フェリー増田入口(下車徒歩約2分)
- ・または、国際展示場正門駅前(下車徒歩約1分)
- ・空港バス 東京ビッグサイト(下車徒歩約5分)

Webサイト制作

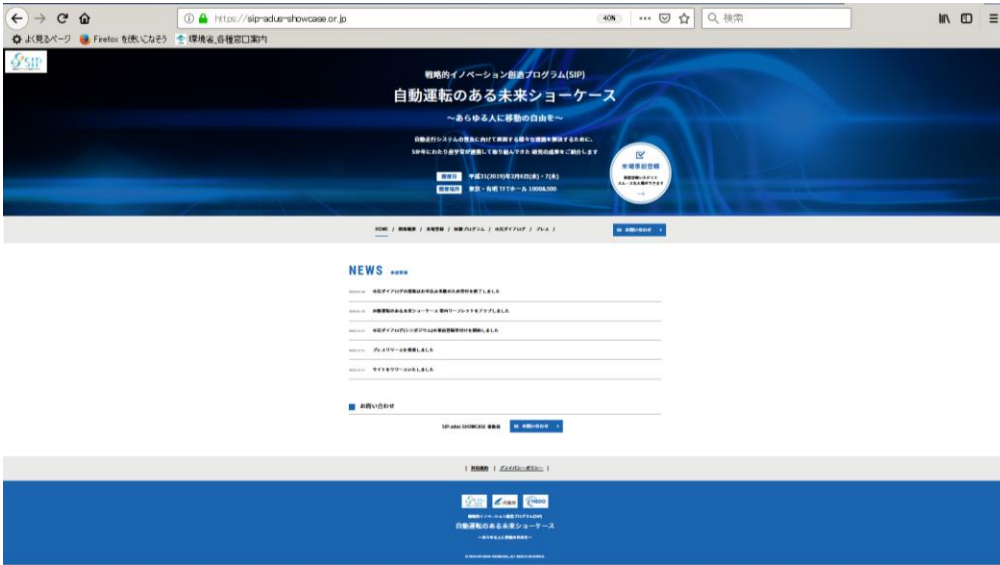
---



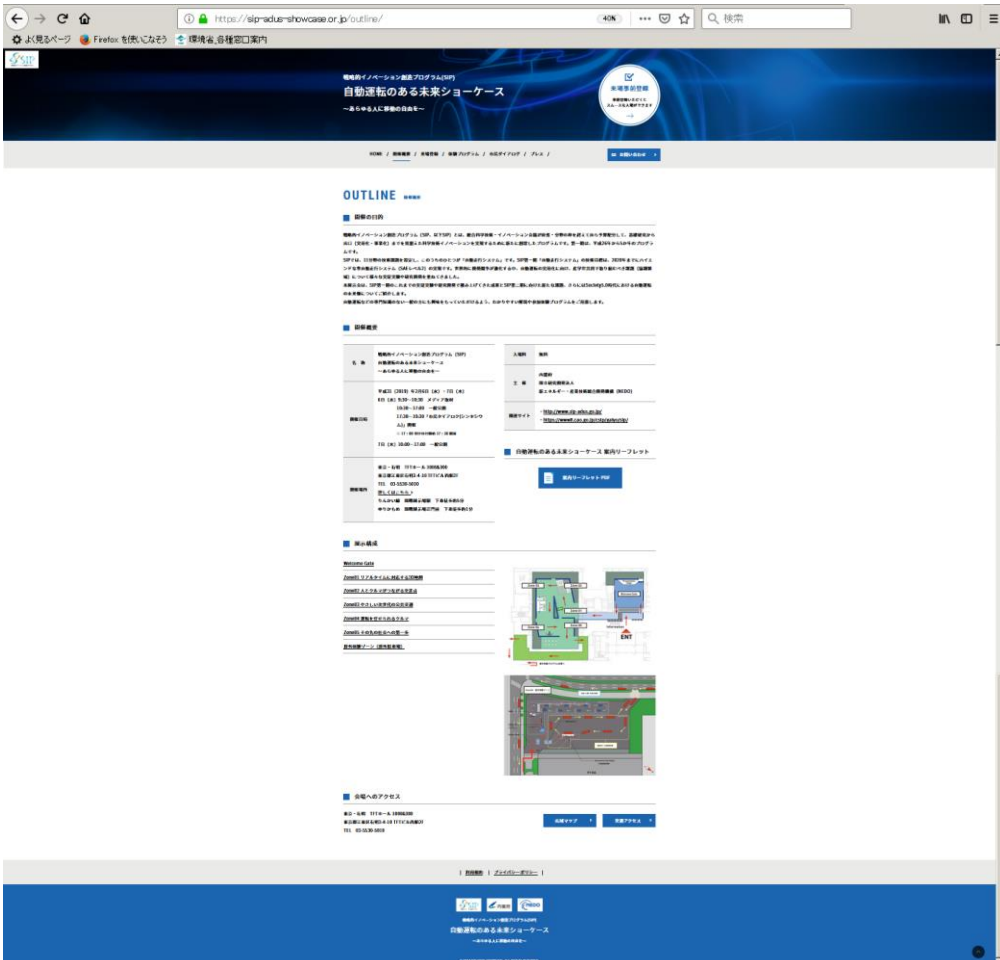
## ●Webサイトの制作

平成30年12月27日に関係メディアに対して、プレスリリースの配信に併せてWebサイトを公開

## トップページ



## 概要ページ



## 来場登録ページ



### REGISTRATION

ガイドツアー、申込ガイドツアー（申込プログラム）と併発を希望される方は、申込、参加申し込みが必須ですご注意ください。

年次	<input type="text" value="ご選択ください"/>
所在地（都道府県）	<input type="text" value="ご選択ください"/>
職業	<input type="text" value="ご選択ください"/>
年齢	<input type="text" value="ご選択ください"/>
Eメールアドレス	<input type="text"/>

上記の内容が間違いがないか必ずチェックを入れて確認してください。

※メールアドレスが不正な形式で入力されている場合があります。メールアドレスが不明な場合はお問い合わせください。  
お申込みが EJP (slp-radus-showcase.or.jp) の EJP メンバーからの申込みを登録されるように、メールアドレスの登録をお願いします。

## 体験プログラムページ



### EXPERIENCE

#### ■ ガイドツアー

概要	SIPの推進にシニア世代の参加を促す専門家が、専門知識をもたない方々を対象とするガイドツアーを開催します。	開催日時	2019年2月6日（水） 10:00から20:00（申し込みは20:00まで）
概要	専門家とともに参加企業をまわりますが、体験プログラムを主導する研修員についてわかりやすく解説を行います。ご参加ください。	開催日時	2019年2月10日（水） 10:00から20:00（申し込みは20:00まで）
定員	定員 - 予約制です。	所要時間	1日 30分程度
		参加人数	100名（申し込み数まで受け付け）

#### ■ 体験プログラム① 次世代（S）技術体験会

概要	体験型デバイス（VR/AR）がどのような仕組みで動作しているのか、体験型デバイスの仕組みを体験していただきます。会場は、参加企業のみならず、SIPの推進を目的とする研修員も参加します。体験型デバイスは、入場時に貸出してお返しください。会場内で、参加企業のみならず研修員も体験いただけます。
----	--

#### ■ 体験プログラム② 見通しの高い交差点・歩道のない道路の歩行体験

概要	見通しの悪い交差点や歩道のない道路で、人工知能が運転している様子を確認していただきます。
----	--

#### ■ 体験プログラム③ 歩行者検知レーダーのデモ

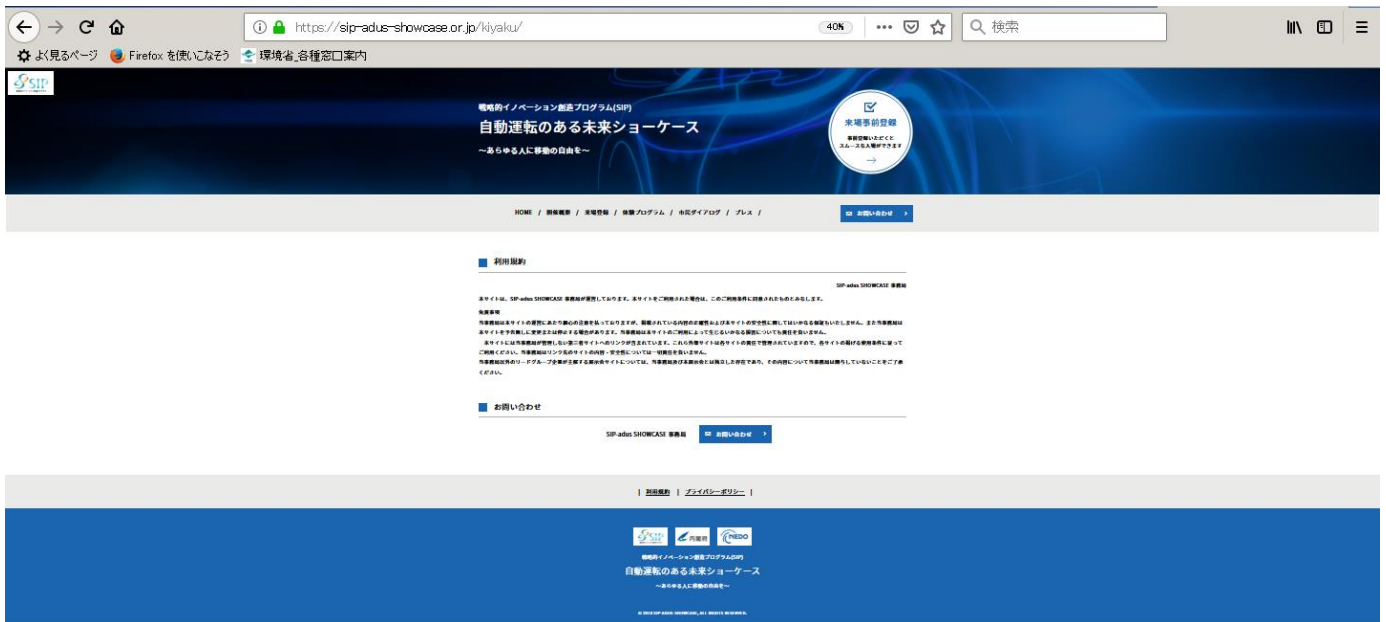
概要	自動運転を推進する研究や実用化に向けた開発者向けで、その開発者向けに提供することで、開発者向けに、自動運転の安全性を確保するための開発者向けに提供することになります。
----	---

#### ■ 体験プログラム④ 燃料電池バス「SORA」の試乗体験

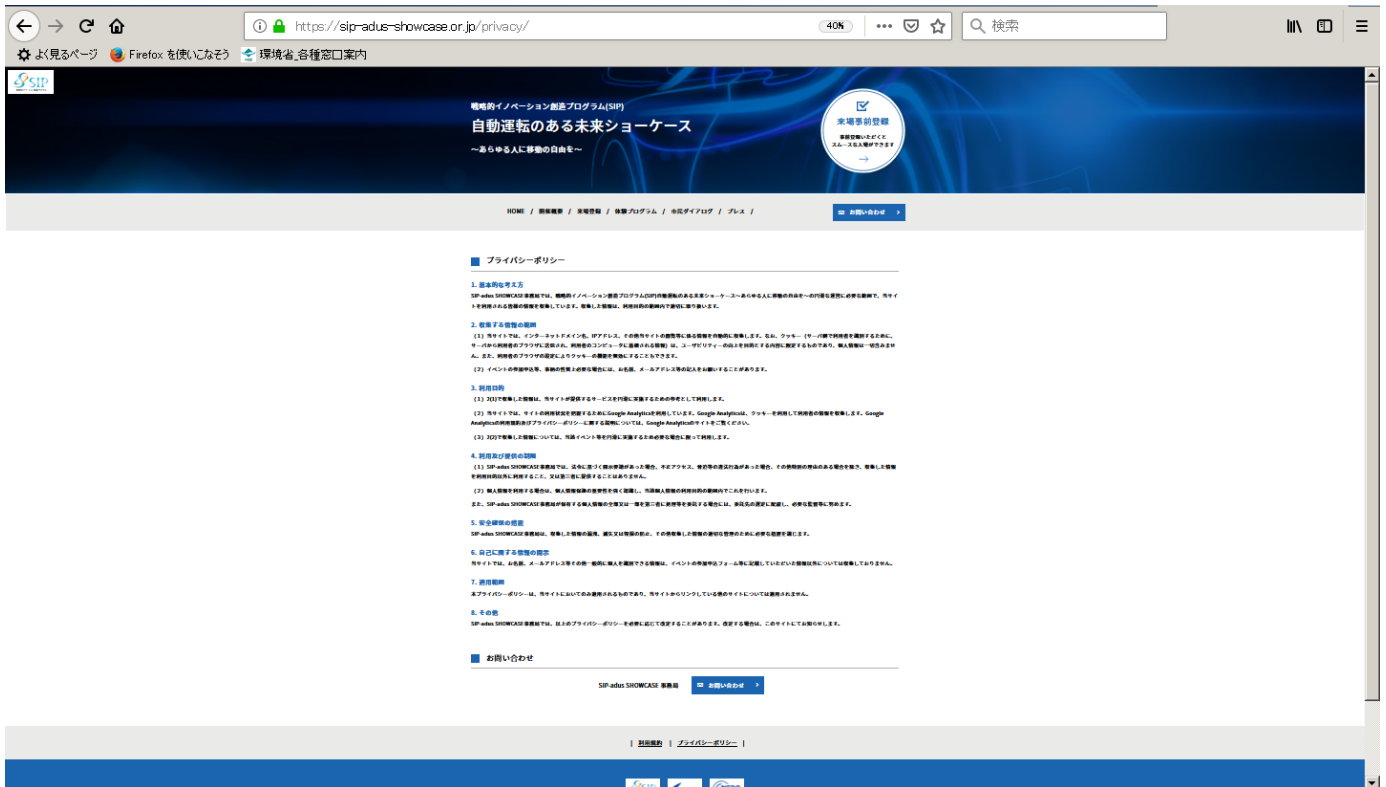
概要	燃料電池バス（FCV）SORA（ソラ）に試乗していただきます。体験型デバイスは、貸出してお返しください。会場内で、参加企業のみならず研修員も体験いただけます。
----	---



## 利用規約



## プライバシーポリシー





## プレスリリース

---

## ●プレスリリースの配信

内閣府より、平成30年12月27日に関係メディアに対して、プレスリリースを配信。

平成30年12月27日  
内閣府  
産業統括官（科学技術・イノベーション担当）

**戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動走行システム  
「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を開催！**

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動走行システムは、2月6日（水）、7日（木）、これまで5年にわたり産学官が連携して取り組んできた研究開発の成果を発信するため、「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を開催いたします。

**1. 開催趣旨**  
SIP自動走行システムは、高度な自動走行システムの実現による事故・渋滞の低減、利便性の向上を目指し、産学官が連携して取り組むべき技術課題の研究開発や実証実験を5年に渡り取り組んでまいりました。  
この度、自動運転技術を実際に利用する方々を対象に、自動運転の現状と未来を知っていただくため、内閣府は関係省庁及び管理法人のNEDOと協力し、「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を開催いたします。  
本ショーケースでは、実証実験で利用した実機による体験型の展示や技術者と実用化に係る方々との対話等の機会を提供等することにより、さらなる社会的受容性の醸成と社会実装の加速を図ります。

**2. 日時・会場**  
◆ 日時：平成31年2月6日（水）10:30～17:00  
17:30 から特別イベント「市民ダイアログ（シンポジウム）」  
7日（木）10:00～17:00  
◆ 場所：東京・有明 TFT ホール（東京都江東区有明 3-4-10 TFTビル西館 2F）

**3. 参加方法**  
◆ 事前登録制（当日参加も可能です）  
来場を希望される方はこちらから申込みください：<https://sip-adus-showcase.or.jp/>  
◆ 入場無料

**4. 主なコンテンツ**  
本ショーケースでは、自動運転について専門知識のない方にも興味をもっていただけるよう、専門家による一般向けのガイドツアーや参加体験プログラムを御用意します。  
【予定している内容】  
・ダイナミックマップの体験型デモ、交差点での歩行者検知、バス停留所への正着制御体験デモ、ドライビングシミュレーターによる運転引継体験等  
・自動運転バスの試乗体験  
・対話イベント「市民ダイアログ（シンポジウム）」を開催




道路情報を統合したダイナミックマップ
自動運転バスのデモ

**5. 取材について**  
6日（水）9:30～10:30 にメディア取材時間を設けています。取材を希望される方は、下記まで御連絡ください。

＜問合せ先＞	
SIP 自動走行システムについて	内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 SIP 自動走行システム担当（古賀、畑崎、竹馬、杉江） 電話：03-6257-1314（直通） FAX：03-3581-9969
NEDO について	NEDO ロボット・AI 部モビリティグループ（水ノ江、福田、林） 電話：044-520-5247（直通） FAX：044-520-5243
本展示イベント・取材の申し込みについて	SIP-adus SHOWCASE 事務局（担当：寺本） 電話：03-6260-6890 E-Mail: info@sip-adus-showcase.or.jp

総合科学技術・イノベーション会議のホームページはこちら  
<http://www8.cao.go.jp/cstp/index.html>  
  
 SIP 自動走行システムのホームページはこちら  
<http://www.sip-adus.jp/>  
  
 NEDO 大規模実証実験のホームページはこちら  
[http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP\\_100125.html](http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100125.html)

メディア

---

## ● 広報施策

- ・内閣府様、NEDO様のHP等を通してのプレスリリースの発信
- ・国際自動車ジャーナリスト清水和夫氏をアドバイザーとして起用  
→ 展示内容のアドバイスだけでなく、NewsInsightでの清水氏の連載記事でも紹介いただいた。
- ・日本バス協会のメルマガにて、案内を配信
- ・自動車技術会のメルマガにて、案内を配信
- ・事務局より各自動車関連メディア、一般メディアを案内を送付
- ・都道府県事務所へのリーフレット送付

## ● web事前露出

掲載日	媒体名	媒体社	タイトル	URL
1月18日	carview!	カービュー	メディアも注目する自動運転を体験&学べる！ 2/6~7、東京有明で無料ガイドツアーあります	<a href="https://carview.yahoo.co.jp/news/market/20190118-10376879-carview/">https://carview.yahoo.co.jp/news/market/20190118-10376879-carview/</a>
1月23日	NewsInsight	マイナビ	自動運転とMaaSが世界の共通言語に? 「CES 2019」で自動車会社は何を語ったか	<a href="https://biz.news.mynavi.jp/articles/-/2322">https://biz.news.mynavi.jp/articles/-/2322</a>
1月23日	ニコニコニュース	ドワンゴ	自動運転とMaaSが世界の共通言語に? 「CES 2019」で自動車会社は何を語ったか	NewsInsight 転載 <a href="https://news.niconico.jp/watch/nw4709991">https://news.niconico.jp/watch/nw4709991</a>

## ● 紙媒体事後露出

掲載日	媒体名	媒体社	タイトル	カラー	サイズ
2月7日	日刊自動車新聞	日刊自動車新聞社	バス停に隙間なく停車 SIP自動運転技術を披露	1C	42cm

## ● web事後露出

掲載日	媒体名	媒体社	タイトル	URL
2月6日	carwatch	インプレス	内閣府とNEDO、「自動運転のある未来のショーケース」を東京・有明TFTホールで開催。自動運転バスに試乗可能	<a href="https://car.watch.impress.co.jp/docs/news/1168541.html">https://car.watch.impress.co.jp/docs/news/1168541.html</a>
2月6日	yahoo!ニュース	ヤフー	内閣府とNEDO、「自動運転のある未来のショーケース」を東京・有明TFTホールで開催。自動運転バスに試乗可能	carwatch転載 <a href="https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190206-00000123-impress-ind">https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190206-00000123-impress-ind</a>
2月7日	response	イード	すきま5cm、バスの幅寄せ…内閣府SIPが自動運転の研究成果を披露【フォトレポート】	<a href="https://response.jp/article/2019/02/07/318867.html">https://response.jp/article/2019/02/07/318867.html</a>
2月7日	yahoo!ニュース	ヤフー	すきま5cm、バスの幅寄せ…内閣府SIPが自動運転の研究成果を披露【フォトレポート】	response転載 <a href="https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190207-00000000-rps-sci">https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190207-00000000-rps-sci</a>
2月7日	carview!	カービュー	すきま5cm、バスの幅寄せ…内閣府SIPが自動運転の研究成果を披露【フォトレポート】	response転載 <a href="https://carview.yahoo.co.jp/news/market/20190207-10381755-carview/">https://carview.yahoo.co.jp/news/market/20190207-10381755-carview/</a>



## 来場者集計

---

# 来場者集計

## ●2月6日（水）来場者数

TIME	事前	当日	時間計	累計
10:30-11:00	101名	30名	131名	131名
11:00-12:00	38名	9名	47名	178名
12:00-13:00	47名	23名	70名	248名
13:00-14:00	49名	18名	67名	315名
14:00-15:00	74名	13名	87名	402名
15:00-16:00	65名	35名	100名	502名
16:00-16:45	18名	36名	54名	<b>556名</b>
<b>合計</b>	<b>392名</b>	<b>164名</b>		

## ●2月7日（木）来場者数

TIME	事前	当日	時間計	累計
10:00-11:00	68名	32名	100名	100名
11:00-12:00	46名	14名	60名	160名
12:00-13:00	37名	19名	56名	216名
13:00-14:00	51名	32名	83名	299名
14:00-15:00	46名	32名	78名	377名
15:00-16:00	39名	41名	80名	457名
16:00-16:45	11名	11名	22名	<b>479名</b>
<b>合計</b>	<b>298名</b>	<b>181名</b>		

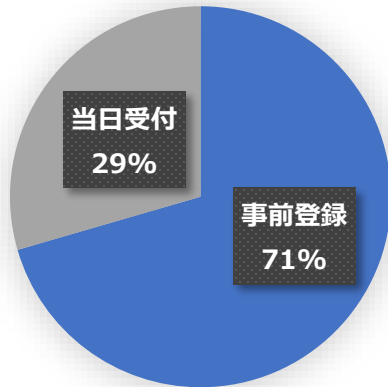
## ●2日間合計来場者数

TIME	事前	当日	時間計	累計
10:00-11:00	169名	62名	231名	231名
11:00-12:00	84名	23名	107名	338名
12:00-13:00	84名	42名	126名	464名
13:00-14:00	100名	50名	150名	614名
14:00-15:00	120名	45名	165名	779名
15:00-16:00	104名	76名	180名	959名
16:00-16:45	29名	47名	76名	<b>1035名</b>
<b>合計</b>	<b>690名</b>	<b>345名</b>		

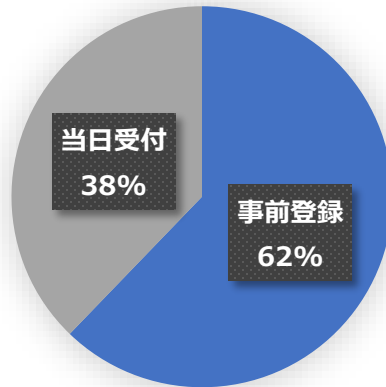
# 来場者集計

## ●2月6日（水）来場者数

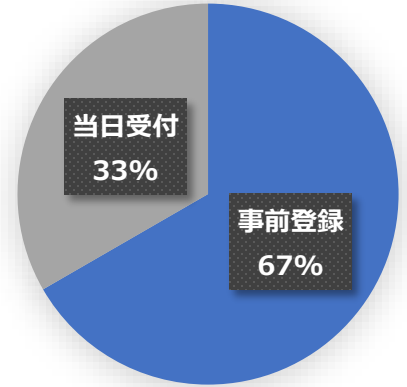
2月6日（水）



2月7日（木）



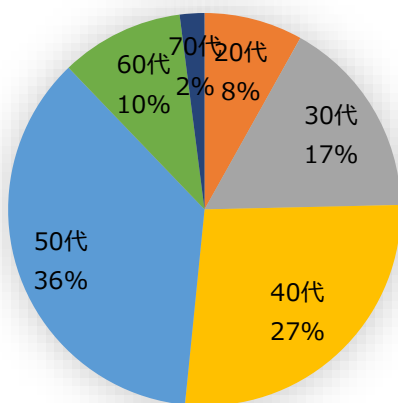
2日間



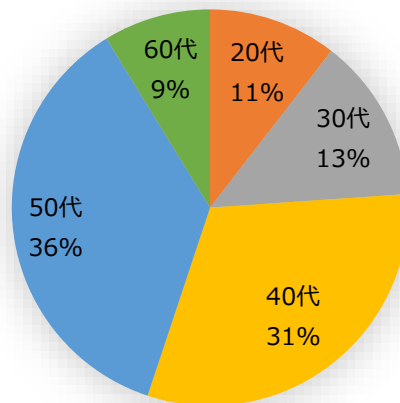
## ●年代

年代	人数		
	事前	当日	総合計
10代	0人	0人	0人
20代	56人	36人	92人
30代	114人	46人	160人
40代	186人	107人	293人
50代	250人	124人	374人
60代	70人	30人	100人
70代	14人	0人	14人
80代	0人	0人	0人

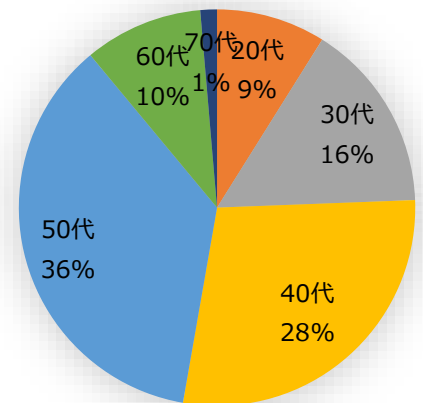
事前



当日



総合計



■10代 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代 ■80代

# 来場者集計

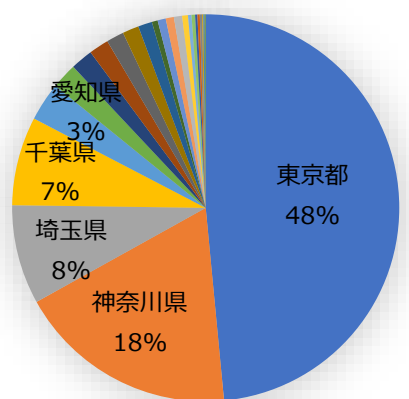
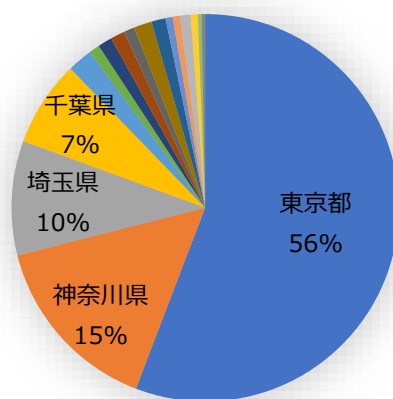
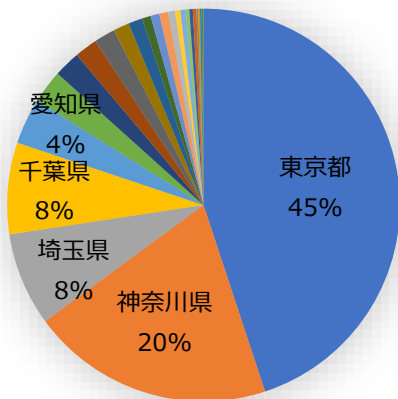
## ●居住地

居住地	人数		
	事前	当日	総合計
東京都	310人	187人	497人
神奈川県	138人	51人	189人
埼玉県	53人	32人	85人
千葉県	52人	24人	76人
愛知県	26人	7人	33人
静岡県	19人	3人	22人
茨城県	15人	4人	19人
栃木県	13人	4人	17人
兵庫県	12人	3人	15人
群馬県	9人	5人	14人
大阪府	8人	4人	12人
京都府	5人	0人	5人
長野県	5人	2人	7人
福岡県	5人	2人	7人
北海道	4人	3人	7人
石川県	3人	2人	5人
福島県	3人	0人	3人
岡山県	2人	1人	3人
広島県	2人	0人	2人
三重県	2人	0人	2人
滋賀県	1人	1人	2人
大分県	1人	0人	1人
奈良県	1人	0人	1人
日本以外	1人	0人	1人

事前

当日

総合計





# 来場者集計

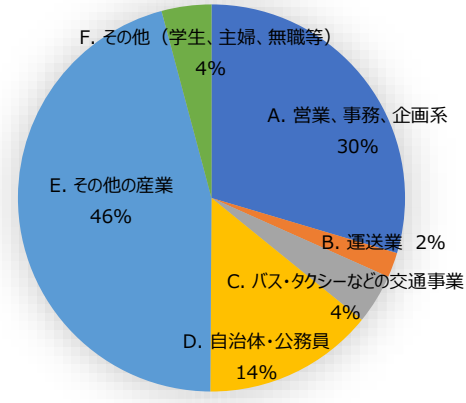
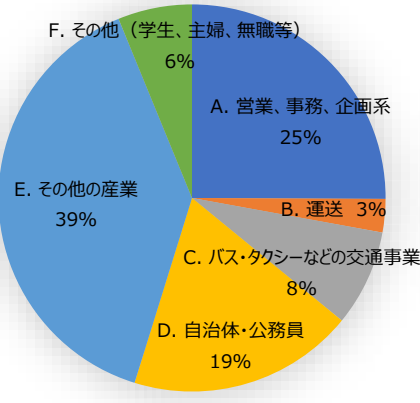
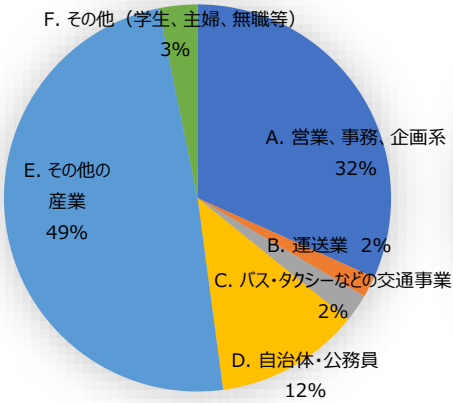
## ● 職業

職業	人数		
	事前	当日	総合計
A. 営業、事務、企画系	218人	81人	299人
B. 運送業	12人	9人	21人
C. バス・タクシーなどの交通事業	16人	26人	42人
D. 自治体・公務員	83人	61人	144人
E. その他の産業	336人	126人	462人
F. その他（学生、主婦、無職等）	22人	20人	42人

事前

当日

総合計



■ A. 営業、事務、企画系

■ B. 運送業

■ C. バス・タクシーなどの交通事業

■ D. 自治体・公務員

■ E. その他の産業

■ F. その他（学生、主婦、無職等）

# 来場者集計

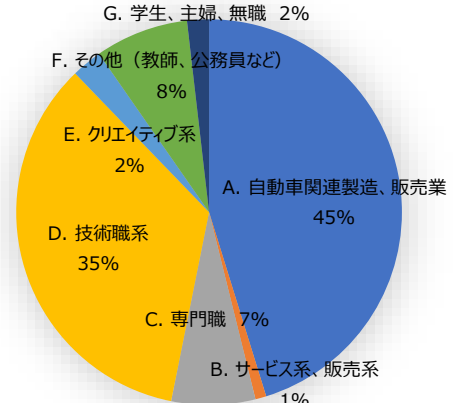
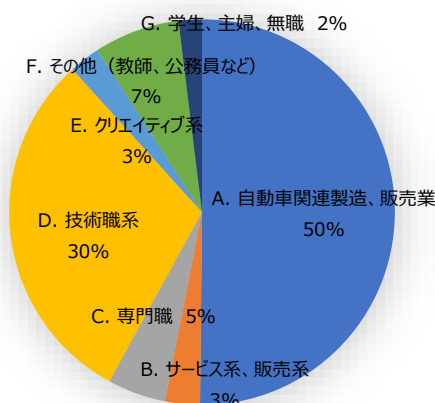
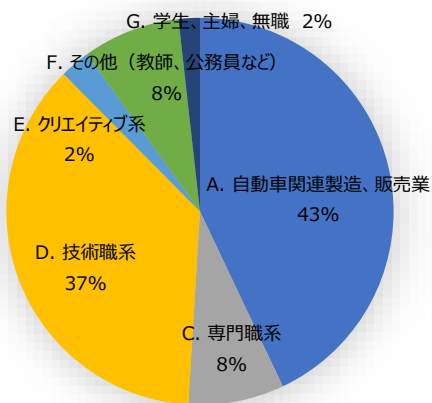
## ●業種

業種	人数		
	事前	当日	総合計
A. 自動車関連製造、販売業	290人	154人	444人
B. サービス系、販売系	0人	9人	9人
C. 専門職系	54人	15人	69人
D. 技術職系	247人	93人	340人
E. クリエイティブ系	17人	8人	25人
F. その他（教師、公務員など）	55人	22人	77人
G. 学生、主婦、無職	12人	6人	18人

事前

当日

総合計



- A. 自動車関連製造、販売業
- B. サービス系、販売系
- C. 専門職系
- D. 技術職系
- E. クリエイティブ系
- F. その他（教師、公務員など）
- G. 学生、主婦、無職

## 各体験コンテンツ集計

---

# 体験コーナー（正着制御）

## ●体験者数

TIME	2月6日 (水)	2月7日 (木)
9:30-10:00	1名	
10:00-11:00	4名	21名
11:00-12:00	12名	27名
12:00-13:00	13名	28名
13:00-14:00	18名	16名
14:00-15:00	27名	30名
15:00-16:00	25名	35名
16:00-17:00	19名	32名
<b>合計</b>	<b>119名</b>	<b>189名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>308</b>	<b>名</b>

## ●記録写真





● 体験者数

TIME	2月6日（水）	2月7日（木）
9:30-10:00	0名	
10:00-11:00	4名	11名
11:00-12:00	11名	10名
12:00-13:00	9名	8名
13:00-14:00	6名	10名
14:00-15:00	15名	10名
15:00-16:00	14名	7名
16:00-17:00	10名	7名
<b>合計</b>	<b>69名</b>	<b>63名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>132</b>	<b>名</b>

● 記録写真



# 体験コーナー（シミュレーター\_障害物）

## ● 体験者数

TIME	2月6日（水）	2月7日（木）
9:30-10:00	1名	
10:00-11:00	0名	10名
11:00-12:00	9名	13名
12:00-13:00	11名	11名
13:00-14:00	10名	6名
14:00-15:00	9名	12名
15:00-16:00	16名	9名
16:00-17:00	11名	8名
<b>合計</b>	<b>67名</b>	<b>69名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>136</b>	<b>名</b>

## ● 記録写真



# メッセージボード

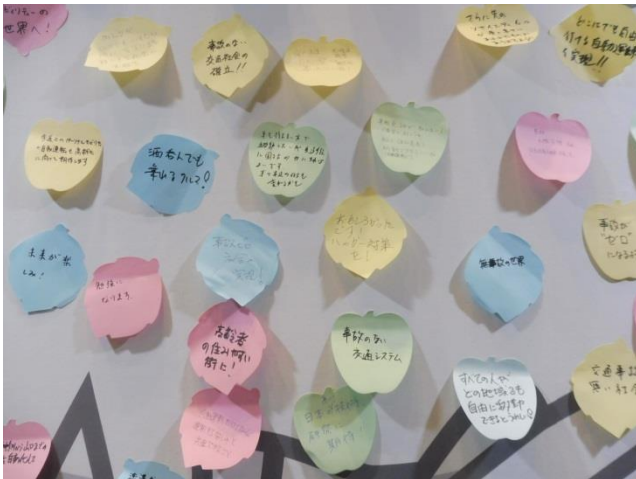
## ● 体験者数

メッセージ	2月6日 (水)	2月7日 (木)	合計
		177 枚	174 枚

No.	カテゴリー	代表的なコメント	件数
1	多かった声	事故の無い社会を！！	59
2		安心・安全な車社会	43
3		あらゆる場所にあらゆる人が簡単に移動できる社会	56
4		誰にでも利用でき皆の生活を豊かに	
5		渋滞ゼロの社会に	6
6	期待の声	車とコミュニケーションをとりながら楽しく移動出来る、事故のない社会	183
7		自動運転だけでなく、運転する楽しみと共存できること	
8		楽だけでなく人々の暮らしが幸福になると良いと思う	
9		早く実現しちゃいましょう	
10		街の形・風景が良くなりますように	
11	心配の声	自動運転有無車の混走が心配	1
12		中国に負けるな！	1
13	その他	第二期SIP頑張るぞ！	1
14		すごくわかりやすい未来感でした	1
		合計	351



## ● 記録写真



# 次世代バス技術体験（場外）

## ●体験者数 (当日受付者のみの人数)

TIME	2月6日（水）	2月7日（木）
10:00-10:55		1名
11:30-12:25	1名	
13:00-13:55	1名	5名
14:30-15:25	1名	4名
16:00-16:55	4名	0名
<b>合計</b>	<b>7名</b>	<b>10名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>17名</b>	

## ●記録写真





# 次世代バス技術体験（場内）

## ● 体験者数

TIME	2月6日（水）	2月7日（木）
11:15-11:30	4名	10名
12:45-13:00	9名	16名
14:15-14:30	15名	17名
15:45-16:00	18名	11名
<b>合計</b>	<b>46名</b>	<b>54名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>100名</b>	

## ● 記録写真



## ● 体験者数

TIME	2月6日 (水)	2月7日 (木)
10:15-10:35		1名
10:35-10:55	2名	2名
11:45-12:05	13名	18名
12:05-12:25	4名	5名
13:15-13:35	18名	17名
13:35-13:55	13名	11名
14:45-15:05	18名	18名
15:05-15:25	18名	12名
16:15-16:35	18名	17名
16:35-16:55	18名	17名
<b>合計</b>	<b>122名</b>	<b>118名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>240名</b>	

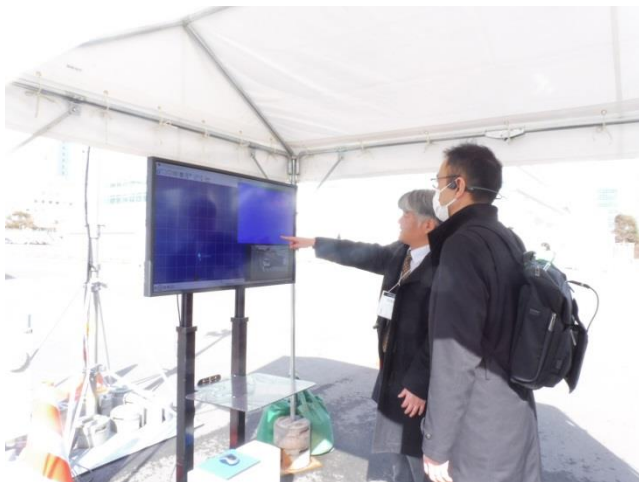
## ● 記録写真



## ●体験者数

TIME	2月6日 (水)	2月7日 (木)
9:30-10:00	0名	
10:00-11:00	4名	5名
11:00-12:00	8名	16名
12:00-13:00	9名	35名
13:00-14:00	23名	24名
14:00-15:00	19名	11名
15:00-16:00	25名	24名
16:00-17:00	27名	14名
<b>合計</b>	<b>115名</b>	<b>129名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>244名</b>	

## ●記録写真





# ジャーナリストによるガイドツアー

## ●ガイドツアー実施スケジュール

	2月6日			2月7日		
	回/時間	ストラップ色	ガイド	回/時間	ストラップ色	ガイド
10:00				▼10:00 OPEN		
	▼10:30 OPEN					
11:00				第1回 10:30~11:00	赤	楠田悦子さん
	第1回 11:00~11:30	赤	飯田裕子さん	第2回 11:00~11:30	みどり	飯田裕子さん
12:00	第2回 11:30~12:00	みどり	佐藤久美さん	第3回 11:30~12:00	黄色	佐藤久美さん
	第3回 12:00~12:30	黄色	吉田由美さん	第4回 12:00~12:30	グレー	吉田由美さん
13:00	第4回 12:30~13:00	グレー	楠田悦子さん	第5回 12:30~13:00	赤	楠田悦子さん
	第5回 13:00~13:30	赤	飯田裕子さん	第6回 13:00~13:30	みどり	飯田裕子さん
14:00	第6回 13:30~14:00	みどり	佐藤久美さん	第7回 13:30~14:00	黄色	佐藤久美さん
	第7回 14:00~14:30	黄色	吉田由美さん	第8回 14:00~14:30	グレー	吉田由美さん
15:00	第8回 14:30~15:00	グレー	楠田悦子さん	第9回 14:30~15:00	赤	楠田悦子さん
	第9回 15:00~15:30	赤	飯田裕子さん	第10回 15:00~15:30	みどり	飯田裕子さん
16:00	第10回 15:30~16:00	みどり	佐藤久美さん	第11回 15:30~16:00	黄色	佐藤久美さん
	第11回 16:00~16:30	黄色	吉田由美さん	第12回 16:00~16:30	グレー	吉田由美さん
17:00	第12回 16:30~17:00	グレー	楠田悦子さん	第13回 16:30~17:00	赤	楠田悦子さん
	▲17:00 CLOSE			▲17:00 CLOSE		



佐藤久美さん



飯田裕子さん



吉田由美さん

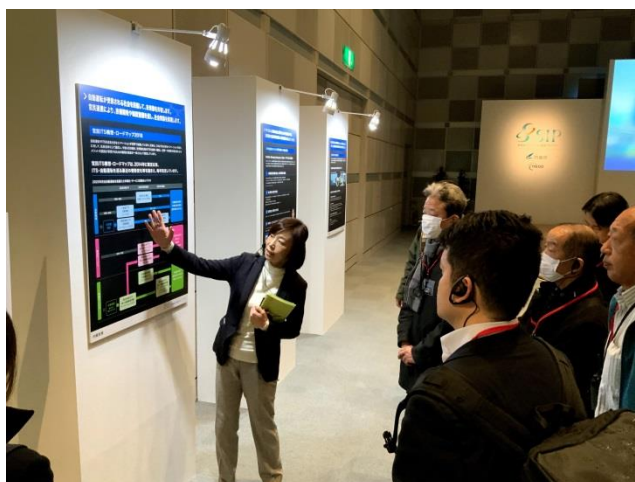


楠田悦子さん

## ● 体験者数

TIME	2月6日 (水)			2月7日 (木)		
	事前	当日	合計	事前	当日	合計
10:30-11:00				5名	8名	13名
11:00-11:30	6名	3名	9名	5名	7名	12名
11:30-12:00	9名	2名	11名	6名	2名	8名
12:00-12:30	6名	6名	12名	7名	2名	9名
12:30-13:00	5名	4名	9名	8名	4名	12名
13:00-13:30	9名	3名	12名	8名	4名	12名
13:30-14:00	10名	1名	11名	6名	6名	12名
14:00-14:30	4名	1名	5名	8名	7名	15名
14:30-15:00	8名	6名	14名	3名	7名	10名
15:00-15:30	6名	7名	13名	5名	8名	13名
15:30-16:00	10名	4名	14名	7名	3名	10名
16:00-16:30	3名	10名	13名	5名	7名	12名
16:30-17:00	8名	2名	10名	4名	5名	9名
<b>合計</b>	<b>84名</b>	<b>49名</b>	<b>133名</b>	<b>77名</b>	<b>70名</b>	<b>147名</b>
<b>2日間合計</b>	<b>280名</b>					

## ● 記録写真





## アンケート集計

---

## ● 体験者数

アンケート	2月6日 (水)	2月7日 (木)	合計
	197 枚	212 枚	409 枚

詳細は別紙にてご報告

---

契約管理番号：18101188-0